

2026年12月期 第3四半期決算説明資料

GMO PRIME STRATEGY

GMOプライム・ストラテジー株式会社
証券コード：5250

目 次

- ・ エグゼクティブサマリーとお知らせ
- ・ 決算概況
- ・ 事業戦略進捗状況
- ・ 中期経営戦略
- ・ FY2026事業戦略
- ・ Appendix
 - ・ 会社概要
 - ・ コアコンピタンス

エグゼクティブサマリーとお知らせ

エグゼクティブサマリ

1. 決算概況：売上高は前年同期比増加。利益は前年同期比減少
2. 中期シェア獲得計画
3. KUSANAGI事業業績拡大傾向
4. KUSANAGI累計稼働台数 過去最高値クラス
5. ライセンス事業（KUSANAGI有償ライセンス）テストマーケティング実施中
6. AI事業 GMO AI RAGチャット発売開始
7. AI事業 GMO AI RAG製造業向けに展開開始



お知らせ

GMO大会議秋フィジカルAI2026に登壇いたしました。
当日はオンラインと合わせて8600名が参加されました。



お知らせ

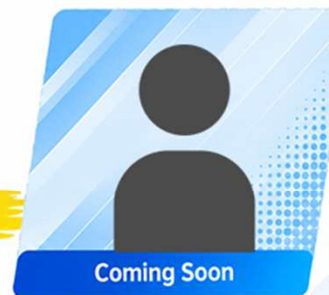
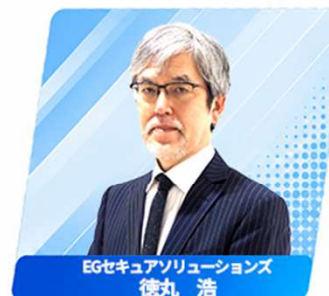
Web制作者サミット2026

for WordPress Creators

WordPressの 制作・運用を、 もっとアップデート。

セキュリティ・AI活用・Web制作・ビジネスの今を学ぶ。

GMO PRIME STRATEGY



開催日程 | 2026年10月22日(木) 14:00~18:00



開催形式 | オンライン開催

GMO PRIME STRATEGY



株式会社パドラック

サービス お問い合わせ プライバシーポリシー 会社概要 当院らせ

SaaS for CMS

クラウドで安全安心なWebを提供します

常時SSLを推進しています



KUSANAG



SaaS for CMS

オープンソースCMSをクラウド上で提供しています。柔軟なアップグレードなど弊社で管理しますので、お客様はコンテンツに集中できます。



Web脆弱性診断

あなたのWebは安全ですか？ 脆弱性診断は、お客様のWebに存在するセキュリティリスクを診断することでセキュリティ対策の実施を促します。



お問い合わせ

システム開発、アプリ開発から、サーバ構築まで、クラウドサービス、脆弱性診断まで、まずはお問い合わせください。

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にもお問い合わせください。

4 オープンソースライセンス研究会

OSS Consortium

お問い合わせ ☎

当院にも




一橋大学入試センター 主催
PHP 技術者認定機構

[市場動向](#)
[試験](#)
[学校](#)
[体験記](#)
[PHP認定インテグレーター](#)
[コラム](#)
[PHP Open Textbook](#)
[運営](#)
[お問合せ](#)



SNSで受験宣言をして 受験申し込みをして 希望書籍をゲットしよう！ (受験者支援キャンペーンです)









ご利用はありますか？

PHP8学び方と教え方セミナー



ご利用はありますか？

PHP8学び方と教え方セミナー

お知らせIRハイライト

- 2026年9月
 - 【YouTube公開】 決算説明会で紹介したAIによる人件費ゼロ円の営業展開のテスト結果解説
- 2026年8月
 - 【社長コラム公開】 渋谷に移転しました ー移転後のオフィスの模様ー
- 2026年7月
 - 【YouTube公開】 専門用語を使わずに新製品「GMO AI RAGチャット」の製品面、戦略面の圧倒的優位性を投資家の皆様向けに解説しました
 - 【YouTube公開】 専門用語を使わずに説明する「2026年12月期第2四半期決算説明会事前質問の回答」（社長の吉政が解説）
 - WordPressサイトにAIチャットボットをワンクリック導入「GMO AI RAGチャット」を提供開始 PDF（1,087KB）
 - 【YouTube公開】 名物！専門用語を使わずに説明する「2026年12月期第2四半期決算説明会ハイライト」（社長の吉政が解説）

決算概況

決算サマリー

売上高は前年同期比増加。一方で利益は前年同期比減少。

売上高

711 百万円

前年同期比10.9%
予算進捗率63.3%

営業利益

76 百万円

前年同期比▲25.8%
予算進捗率107.4%

親会社株主に帰属する 四半期純利益

58 百万円

前年同期比▲19.4%
予算進捗率112.8%

- ・「KUSANAGIマネージドサービス byGMO」が好調であり売上高は前年同期比増加。
- ・主に成長に向けた先行費用、事業拡大に伴う人件費や外注コストの増加、本社移転関連費用の発生等により利益は前年同期比減少。

四半期連結業績

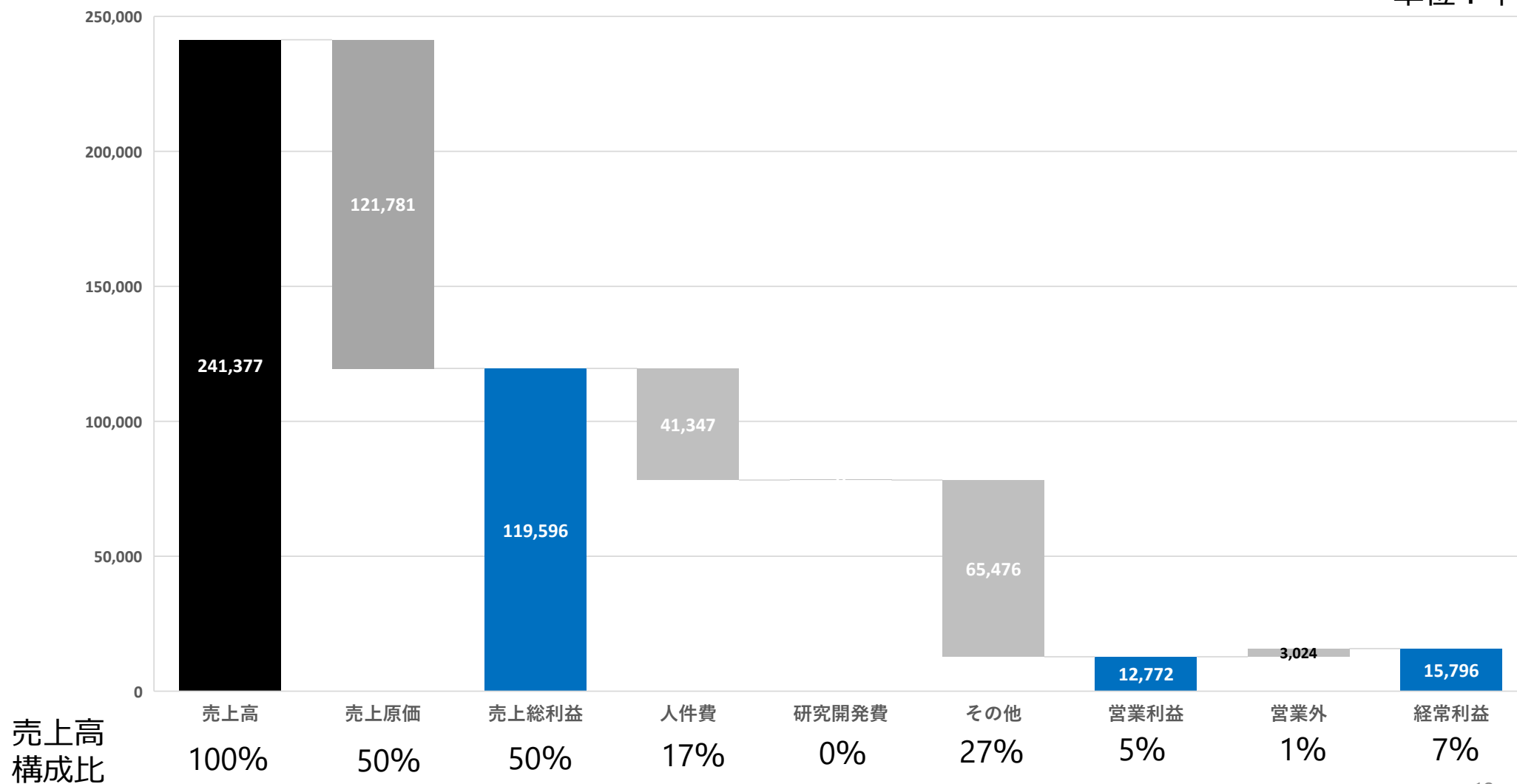
- ・主に「KUSANAGIマネージドサービス byGMO」が好調に推移し売上高は前年同期比増加となっている。
- ・中長期的な成長や事業拡大に向けてコストが増加しており、営業利益・経常利益ともに前年同期比減少となっている。

単位：千円	2025年11月期 (第3四半期累計)	2026年12月期(※) (第3四半期累計)	対前年同期差額	前年 同期比
売上高	641,708	711,458	69,749	110.9%
KUSANAGIマネージドサービス	440,393	519,049	78,656	117.9%
クラウドインテグレーションサービス	82,163	92,720	10,557	112.8%
ライセンス販売	119,151	96,194	▲ 22,957	80.7%
AIインテグレーションサービス	—	3,290	3,290	—
AIマネージドサービス	—	203	203	—
売上原価	283,963	338,008	54,044	119.0%
売上総利益	357,744	373,450	15,705	104.4%
販管費及び一般管理費	255,233	297,374	42,141	116.5%
営業利益	102,511	76,075	▲ 26,436	74.2%
経常利益	103,649	80,288	▲ 23,361	77.5%

※決算期変更の経過期間となる2026年12月期は、2025年12月1日から2026年12月31日までの13か月決算となります

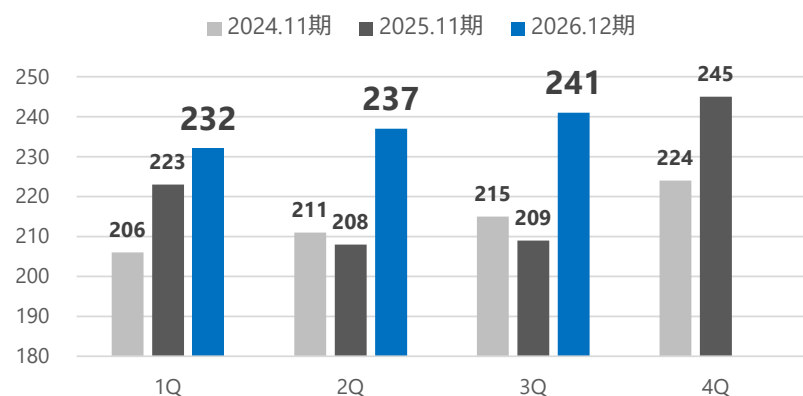
コスト構造 2026.12期 3Q

単位：千円

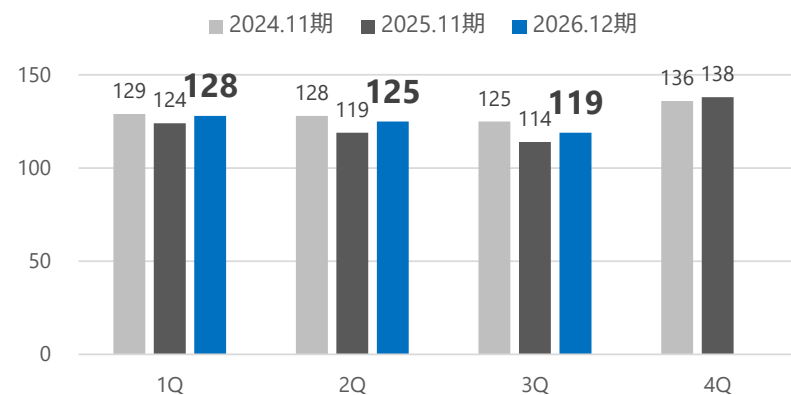


四半期推移（全体）

売上高の推移

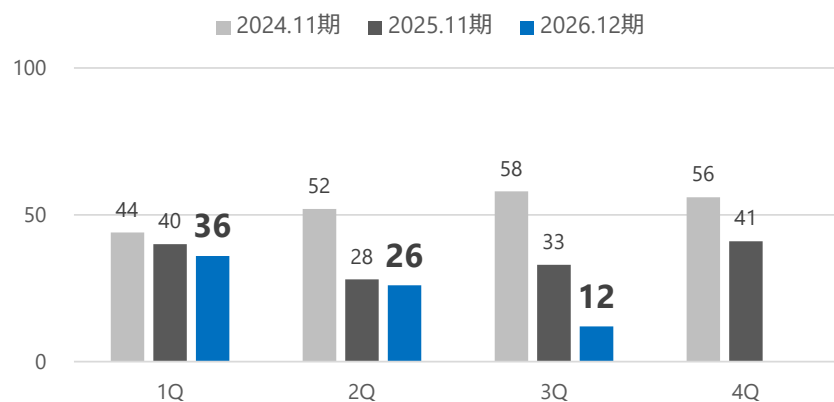


売上総利益の推移

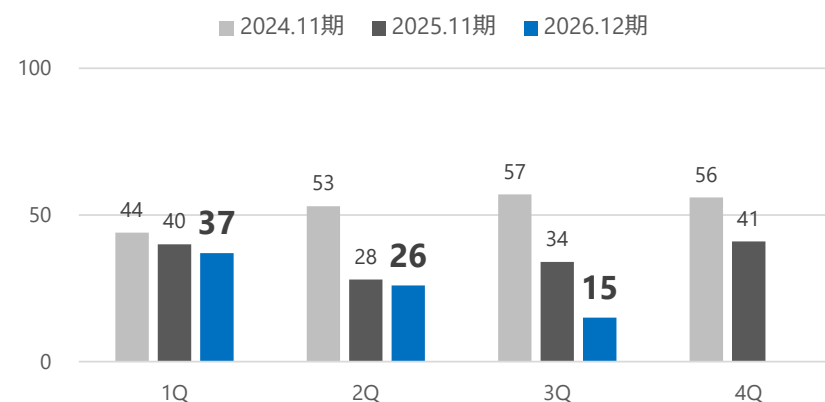


単位：百万円

営業利益の推移



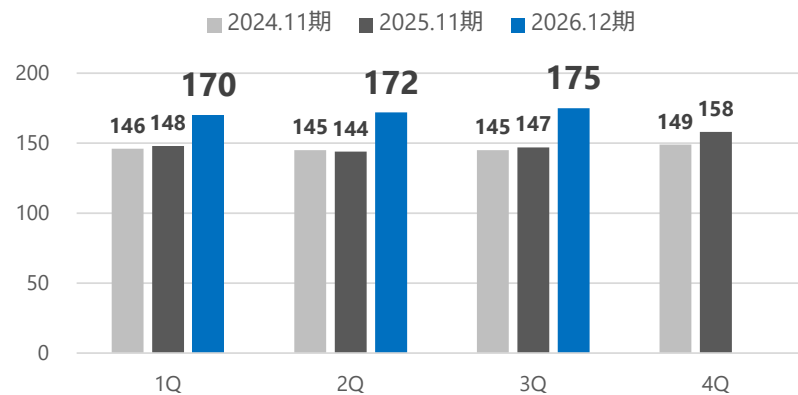
経常利益の推移



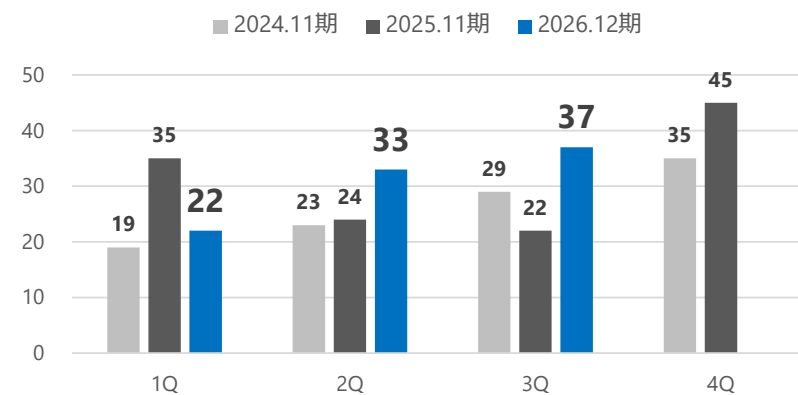
※各四半期の数値は、連結会計期間の数値となります。

四半期推移（サービス別）

KUSANAGIマネージドサービス byGMO 売上高の推移

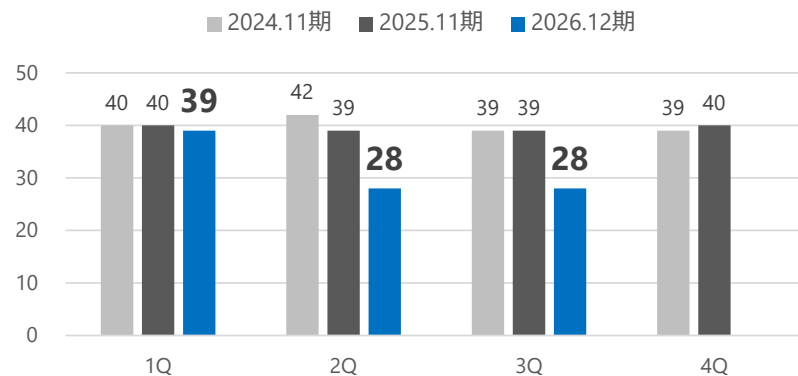


クラウドインテグレーションサービス 売上高の推移

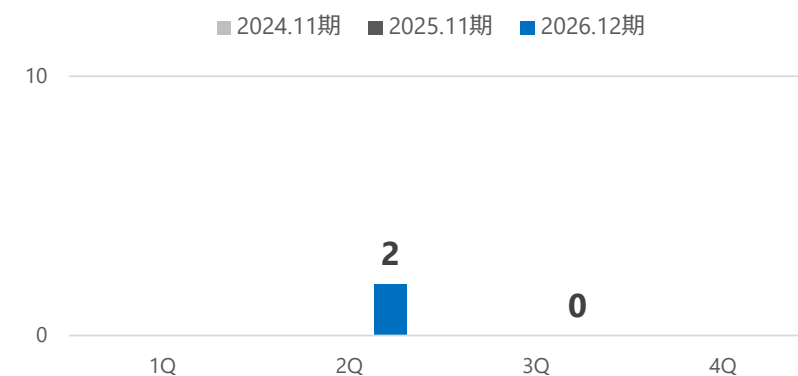


単位：百万円

ライセンス販売 売上高の推移



AIインテグレーションサービス 売上高の推移



※各四半期の数値は、連結会計期間の数値となります。
 ※AIマネージドサービスは推移のグラフを省略しております。

B/Sサマリー

GMO PRIME STRATEGY

単位：千円

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
現金及び預金	1,284,625	1,155,538
売掛金	99,167	95,238
その他	48,013	55,743
流動資産合計	1,431,806	1,306,521
有形固定資産	4,832	5,972
無形固定資産	37,527	55,635
投資その他の資産	132,386	174,907
固定資産合計	174,746	236,516
資産合計	1,606,552	1,543,037

単位：千円

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
買掛金	30,306	28,663
1年内返済予定の長期借入金	36,431	26,465
その他	91,534	69,471
流動負債合計	158,272	124,600
長期借入金	25,885	8,468
固定負債合計	25,885	8,468
負債合計	184,157	133,068
純資産の部		
資本金	453,798	456,141
資本剰余金	413,932	416,275
利益剰余金	589,868	571,158
自己株式	△ 43,843	△ 43,843
株主資本合計	1,413,755	1,399,732
その他の包括利益累計額	8,639	10,236
純資産合計	1,422,395	1,409,969
負債純資産合計	1,606,552	1,543,037

事業戦略進捗状況

KUSANAGI事業戦略進捗状況

短期的展開

- トップセールス・パートナー施策を中心とした大型案件の獲得に向けたアプローチ
 - 大手企業大型案件の第1フェーズ受注⇒**拡大へ**
 - 大手企業グループ Web基盤内示⇒**受注⇒拡大へ**
 - その他受注堅調 既存顧客を中心にアップセル、保守サイト数が拡大
⇒1社あたりの単価について60.5万円から64.7万円へ拡大
- マスマーケティング展開により、新規顧客案件問い合わせ増加
- コアエンジニアと営業メンバーの採用・育成強化
- 昨今の情勢を踏まえ全顧客へのWAF導入支援の継続



KUSANAGI事業戦略進捗状況

KUSANAGI マネージドサービス byGMO

既存顧客の横展開やアップセルなどにより、サービス売上高や顧客単価の増加傾向は続いております。解約率については改善傾向が見られるものの、新規顧客獲得は引き続き課題が残る結果となりました。



KUSANAGIマネージドサービス byGMO推移

	2022.11期	2023.11期	2024.11期	2025.11期	2026.12期 1Q	2026.12期 2Q	2026.12期 3Q
MRR（百万円）	51	48	50	55	58	56	60
顧客数（社数）	114	109	107	99	98	94	93
新規顧客数	10	9	15	13	2	0	1
解約顧客数	10	14	17	21	3	4	2
顧客単価（千円）	363	446	468	556	598	605	647
解約率（%）	0.7	1.0	1.1	1.5	1.0	1.4	0.7
サイト数	267	269	275	325	333	335	349

解約率：期間内の解約数を期間内の総顧客数で割り、月次平均に均したものの

ライセンス事業戦略進捗状況

短期的展開

- GMOシナジーによる製品・技術提供の強化
- GMOインターネットグループ以外の企業とのアライアンス強化
- KUSANAGI有償ライセンスの機能強化⇒WordPress7.0のAI機能を活用したプラグインの開発
- KUSANAGI Stack次期製品開発とリリースに向けた調整（継続）
- 国内外技術提携先へのアライアンス強化（継続）
⇒AIアシストプラグインの包括的知財契約の推進



ライセンス事業戦略進捗状況

KUSANAGI 有償ライセンス ・ 知財 ・ OEM

第3四半期会計期間においては、KUSANAGI有償版の売上高は横ばいとなっております。一方、2026年2月末に大型契約が満了したことに伴うライセンスフィーの消滅について、カバーするには至らず引き続きの知財交渉を進めております。今後については次世代KUSANAGIをはじめとしたライセンス開発の強化や、GMOシナジーの本格化による有償ライセンスの売り上げ拡大を目指して参ります。



ライセンス販売推移

単位：百万円

	2025.11期 1Q	2025.11期 2Q	2025.11期 3Q	2025.11期 4Q	2026.12期 1Q	2026.12期 2Q	2026.12期 3Q
有償版ライセンス販売による売上高	10	9	9	11	9	10	10
ブランド/知的財産等ライセンス提供による売上高	29	29	29	29	29	17	17
ライセンス販売（ライセンス売上高）合計	40	39	39	40	39	28	28

AI事業戦略進捗状況

短期的展開

- GMO AI RAG製造業向けに案件獲得堅調
- GMO AI RAGチャット 広告による一定数の受注が始まる
- GMO AI RAGチャット 事例4件公開
- AI Reach Sales テスト運営中 (CV6%)
- エンジニア、ディレクターの採用・育成堅調



AI事業戦略進捗状況

GMO AI RAG AIソリューション

GMO AI RAGですが、製造業を中心に案件が増加しています。
GMO AI RAGチャットを販売開始し、導入が始まりました。



MAGATAMA Stack、AIソリューションの状況

	2026.12期 1Q	2026.12期 2Q	2026.12期 3Q
MRR（百万円）	—	0.1	0.1
顧客数（社数）	1	2	14
新規顧客数	1	1	12
解約顧客数	0	0	0
顧客単価（千円）	2,490	800	2
解約率（%）	n/a	0	0
サイト数	0	0	0

中期経営戦略

当社「KUSANAGI Stack」のターゲット市場

インターネット

インターネットユーザーに
コンテンツを提供する
コンピューター
(Webサーバ)

コンテンツが増えれば増えるほど表示速度が遅くなる

便利に利用されればされるほど、重要な情報が蓄積され、
サイバー攻撃に狙われる

GMOプライム・ストラテジーはWebサーバを超高速化し、
安全に運営できるようなWebサーバの保守サービス
(サブスクリプションサービス)を提供する会社です

当社「KUSANAGI Stack」のターゲット市場

インターネット

インターネットユーザーに
コンテンツを提供する
コンピューター
(Webサーバ)

昔はコンテンツをプログラミングで作成し、表示していました

コンテンツを効率的に作成したり更新できるように
コンテンツを管理するソフトウェアのニーズが増えました

そこで登場した、プログラミングをしなくてもコンテンツを作れて更新できる
ソフトウェアが「CMS (Contents Management System)」です

今では、全世界のWebサーバの**58.7%**でCMSが稼働
WordPressは全体の**40.2%**稼働*

*引用元 https://w3techs.com/technologies/overview/content_management (2026/10現在)

CMSもWordPressも当社のターゲットであり、
WordPressは当社が特に強い分野です。

WordPressとは

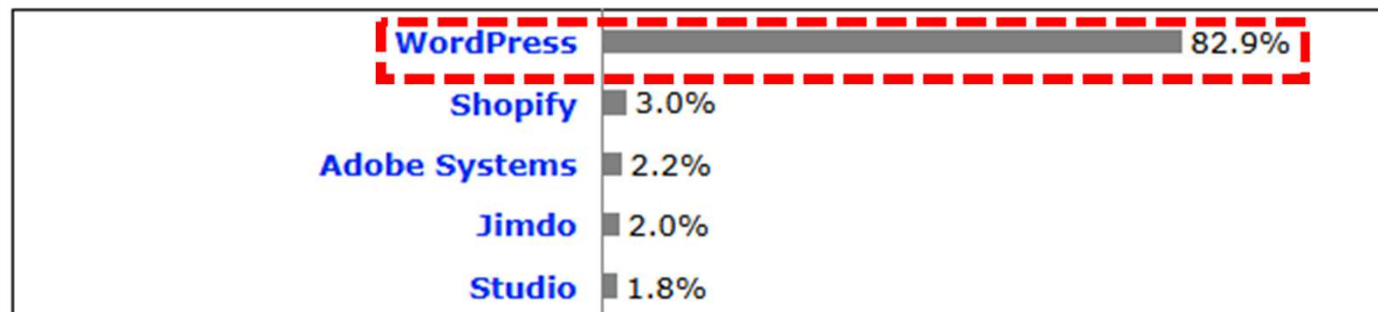
WordPress（ワードプレス）は代表的なCMSの1つであり、国内のCMSの82.9%がWordPressとなっている。（[W3CTechs 2026年10月](#)）

Distribution of content management systems among websites that use Japanese as content language

This diagram shows the percentages of websites using various content management systems among the sites that use Japanese. See [technologies overview](#) for explanations on the methodologies used in the surveys.

How to read the diagram:

WordPress is used by 82.9% of all the websites whose content management system we know and **that use Japanese as content language**.



[advertise here](#)

WordPressのリーディングカンパニーとして

普及啓もう活動



前期イベント実施
50回
総集客数約2800人

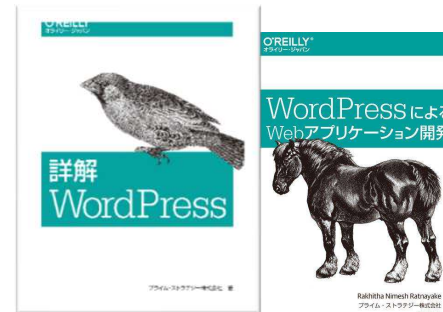


前期動画公開
118本
延総視聴数57.7万人

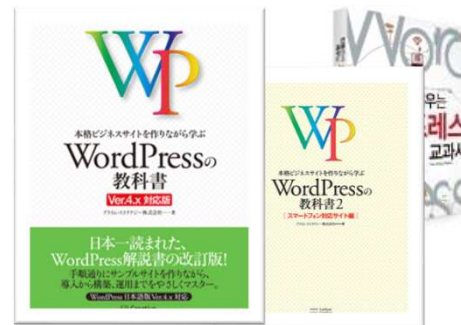


公開事例数
200サイト

WordPress関連書籍の執筆、監訳など



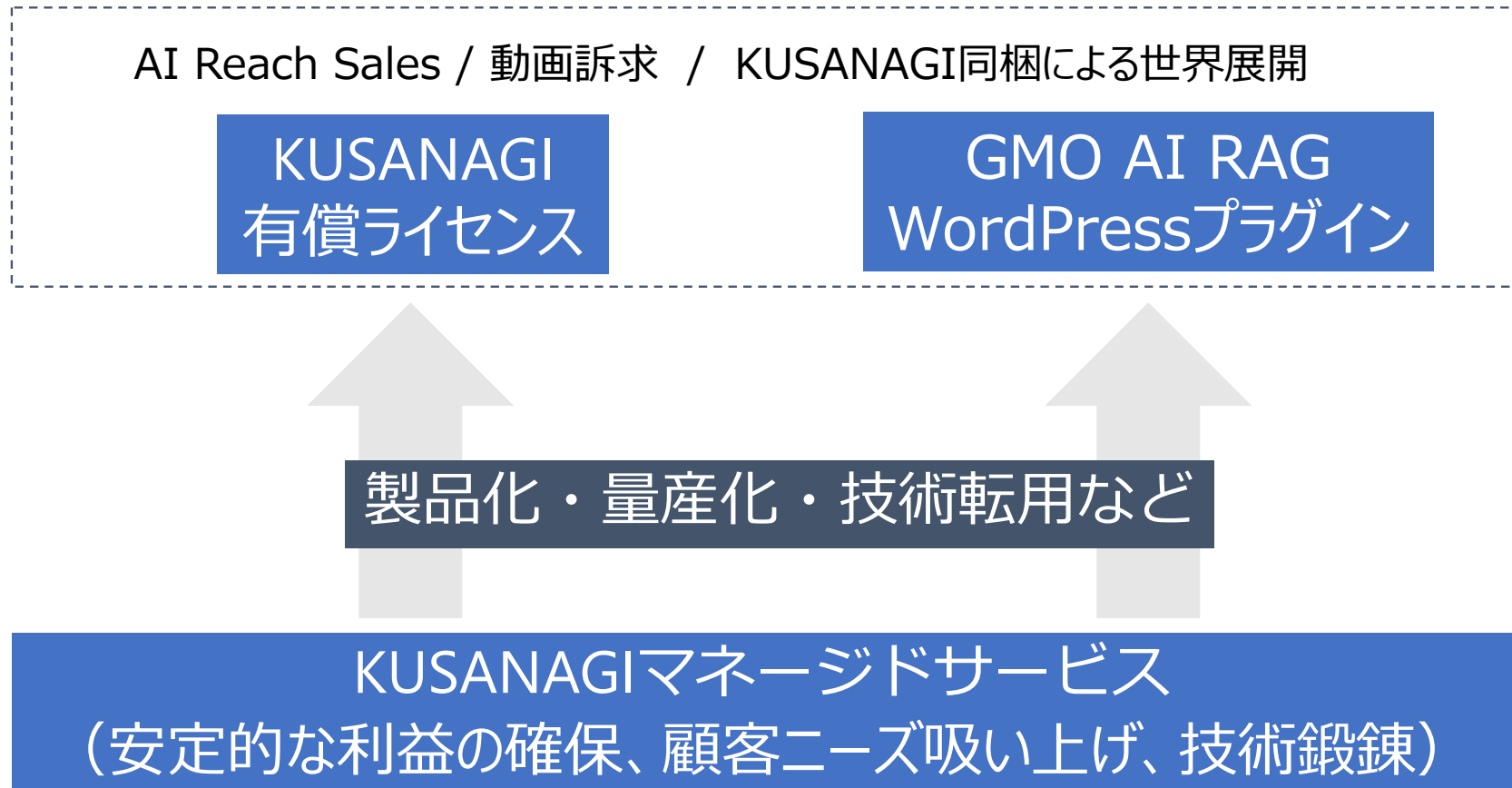
『詳解 WordPress』
『WordPressによる
Webアプリケーション開発』
(出版社：株式会社オライリー・ジャパン)



『WordPressの教科書』
シリーズ
(出版社：SBクリエイティブ株式会社他)

中期経営戦略ビジョン

中期世界展開モデル



中期経営戦略 戦略構成図

GMO PRIME STRATEGY

WordPress/RAGソリューションの世界的リーディングカンパニー

フリーミアム戦略

OSS・圧倒的な高機能による普及・ライセンス売り上げの拡大

- KUSANAGI 超高速・高セキュリティ・自動化
- GMO AI RAG 超高性能・低コスト・つながる

トータルWordPress/RAGソリューション

付帯アプリ・付帯サービスによるさらなる売り上げ拡大

WordPressコミュニティへの貢献

OSS技術コミュニティへの参加

エンタープライズOSSエコシステム

技術会社共同体構想

OSS技術研究所

教育

業界向け勉強会の運営

品質管理

技術者採用

相互開発支援

相互技術連携

WordPressを動かすなら **KUSANAGI**

- WordPressとKUSANAGIとテーマ・プラグインをより密接に
- エンタープライズレベルのソフトウェアライフサイクルを実現
- AI、RAGベースの圧倒的な機能性能とコストパフォーマンスを実現



中期シェア獲得計画

KUSANAGIでWordPress稼働OSの世界15%のシェアを獲得(トップシェア)

KUSANAGIでWordPress稼働OSの世界0.1%のシェアを獲得(トップ10入り)

KUSANAGIがデファクトスタンダードになるための機能・性能要件を満たす(次期KUSANAGI)

連携ソリューションの開発・販売開始(随時展開)

世界展開のためのテストセールス

世界でのKUSANAGI販売実績

世界規模でのKUSANAGI提供開始

世界規模でのKUSANAGI供給網



WordPress法人サイトは
全世界約1億3000万サイト*

*世界のWordPress利用率：40.2%（W3tech）から推定（2026年10月）

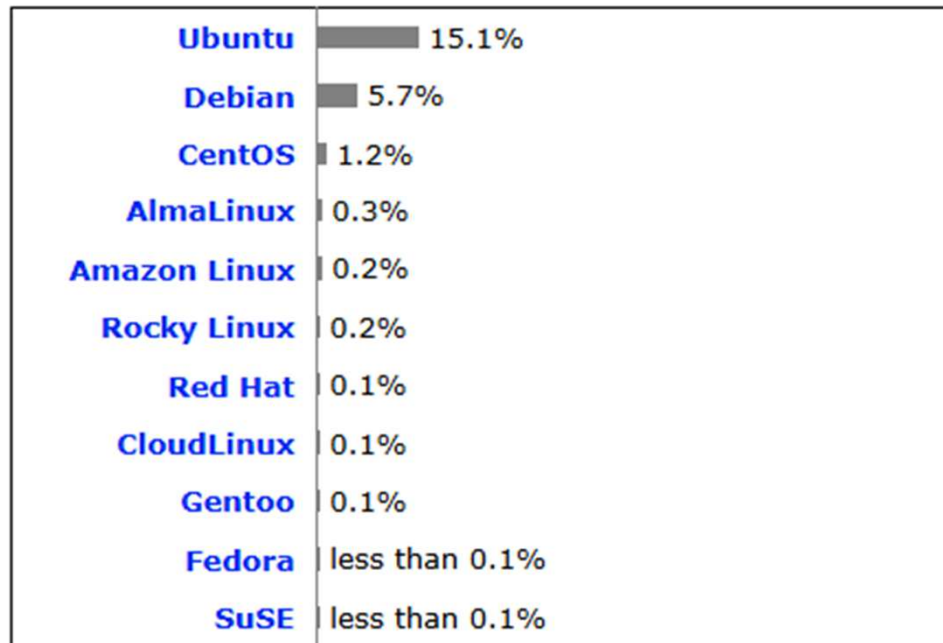
世界Linux市場動向

Subtechnologies of Linux

This diagram shows the percentages of websites using various subtechnologies of Linux.

How to read the diagram:

Ubuntu is used by 15.1% of all the websites who use Linux



[Usage Statistics and Market Share of Linux for Websites, October 2026](#)

KUSANAGIがデファクトになるための条件

- KUSANAGIがWordPressのOSとしてデファクトになるための基本要件と性能
 - WordPressサーバー処理の超高速化
 - PHPやnginxなどのミドルウェアの自動アップデート
 - マルウェア対策
 - セキュリティ監査
 - AIによる運用支援
- ※ここまで実現できるWordPress用のOSはKUSANAGIだけ

次の課題：

- 技術サポートを標準バンドルし、安心感を作る
- 対応できるエンジニアを増やし、普及を加速化する
- 事例の増加



市場概況

- 脆弱性が見つかったから攻撃が開始されるまでの時間が4時間とされており、OS、PHP、nginx、WordPressサーバーのSafe Upgrade（自動バージョンアップ）のニーズが高まる
- PHP8.6（2026年11月リリース予定）
 - 8.6の次が9.0へ
 - PHPのメジャーバージョンアップのニーズが高まる
- インテグレーターが少ない海外の方がSafe Upgrade（自動バージョンアップ）のニーズが高い

AI Reach Sales テストセールスの結果

- 【全体】フォーム + メール（2026年7月～8月約1か月の実績）

- 配信成功数：6,140（成功率22%）

- **リンククリック：116（1.9%）**

- **コンバージョン：42（0.7%）**

1日にこなせる量が現状400件。
現在1日1万件以上をこなせるよう
に開発強化中

- 上記を仮に全世界の法人WordPressサイト1億3千万サイトに展開した場合

- 総配信数 1億3千万サイト*

- 配信成功数 2860万サイト（成功率22%）

- リンククリック 54万3400クリック（1.9%）

- コンバージョン 20万200（0.7%）

- 商談創出・購買 5,000件（CVの2.5%と仮定）

配信成功数を向上させることで
さらに効果を出せます。



事例や調査データを継続的に提供
することで、ブランドも向上し、
更なる成果を狙え（い）ます。

*世界のWordPress利用率：40.2%（[W3tech](#)）から推定（2026年10月）

中期シェア獲得計画の実現のためには
KUSANAGI、
GMO AI RAGチャット、
AI Reach Salesの開発強化が
重要です。
KUSANAGI新Editionや
GMO AI RAGチャットの
機能強化、AI Reach Sales
の開発は進捗は適時
開示してまいります。



FY2026事業戦略

中期戦略ロードマップ

KUSANAGIマネージドサービス byGMO、
KUSANAGI有償ライセンス、
GMO AI RAGビジネスを
基軸に展開します。

国内外パートナーシップの強化
国内外資本業務提携の検討

国内パートナーシップの強化
国内資本業務提携の検討

GMOインターネットグループとの
シナジー展開開始

FY26

受注パターンの確立・拡大

- KUSANAGIマネージドサービス byGMO受注パターンの拡大
- KUSANAGI有償ライセンス製品強化・業績拡大
- GMO AI RAG販売開始
- OEM、技術提携営業強化
- 国内外パートナー獲得、パートナー支援開始

FY25

新製品・新ソリューション投入

- KUSANAGIマネージドサービス byGMOの拡販パターンの確立
- マーケティング強化
- KUSANAGI Security Edition byGMO提供開始
- KUSANAGI有償ライセンスの販売・マーケティング強化
- Magatama.AI「2025年の崖」対応ソリューションの発表・開発開始
- 汎用RAG「MAGATAMA Stack」発表
- OEM、技術提携営業⇒GMOインターネットグループとの提携強化
- 海外ターゲット国の選定、戦略立案

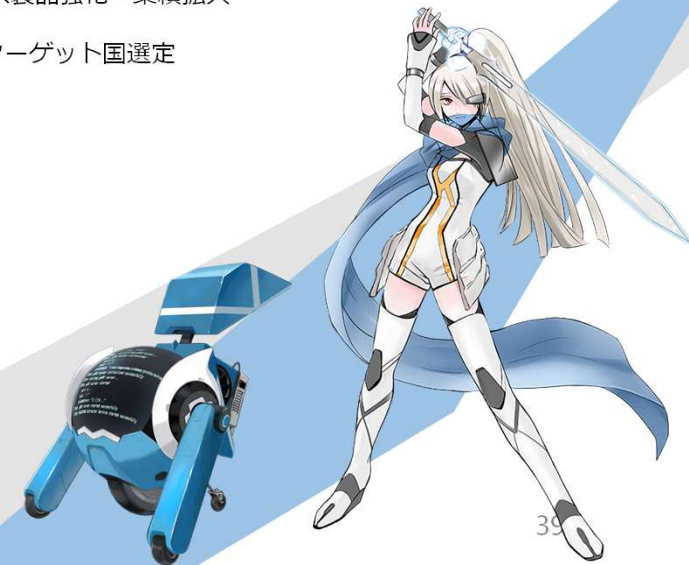
FY30
-31

グローバルビジネスの確立

- KUSANAGIマネージドサービス byGMO AI技術採用、受注パターンの拡大
- Magatama.AI「2025年の崖」対応ソリューションの売上拡大パターンの実現
- KUSANAGI有償ライセンス製品強化・業績拡大
- 海外売り上げ強化、次期ターゲット国販売強化

拡販売期・海外展開ビジネスモデルの確立

- KUSANAGIマネージドサービス byGMO AI技術採用強化、受注パターンの拡大
- Magatama.AI「2025年の崖」対応ソリューション売上パターンの拡大
- KUSANAGI有償ライセンス製品強化・業績拡大
- OEM、技術提携営業強化
- 海外売り上げ強化、次期ターゲット国選定



FY2026 KUSANAGI事業戦略ロードマップ

AI活用、GMOインターネットグループとのシナジーの最大化により

- ①年間ストック純増1000万円、顧客数増加を実現
- ②解約率逡減のためのカスタマーリレーション向上
- ③KUSANAGI有償版の売上拡大と価値向上
- ④技術力強化による円滑な納品・保守体制の確立

知財

KUSANAGIへのAI機能組み込み
有償版の付加価値の向上
KUSANAGI有償版の販路拡大

保守

AI活用による運用業務の精度向上、効率化
⇒全従業員のAI人材化に向けた支援の開始
セールス部門による顧客リレーションの強化

納品

AIを活用した開発作業の効率化、精度向上
社内向け技術試験実施によるスキルの向上
LLMを活用したドキュメント整理による納品作業の短期化

受注

GMOインターネットグループとの営業シナジー強化
セールス領域におけるAI活用、仕組み化、デジタル化の推進
専門性を追求した、組織的な受注プロセスの最適化
マーケティング部との連携によるリード数の向上



FY2026 ライセンス事業戦略ロードマップ

GMO PRIME STRATEGY

- ・ GMOインターネットグループとのシナジー協業の推進
- ・ GMOインターネットグループ外のアライアンス強化
- ・ 次世代セキュア基盤の開発（技術開発）
- ・ KUSANAGI Security Edition byGMO の次期バージョンの開発
- ・ 国内外のテストマーケティングとテストセールスの強化
- ・ OEM技術供与先の開拓（継続）

Q1

GMOインターネットConoHa VPSでKUSANAGI有償ライセンス提供開始
GMOシナジー計画推進
KUSANAGI有償ライセンス販売テストマーケティング

Q2

KUSANAGI有償ライセンスの機能拡充
KUSANAGI有償ライセンス販売テストマーケティング

Q3

KUSANAGI有償ライセンス販売テストマーケティング
KUSANAGIセキュア基盤（仮称）
KUSANAGI 次バージョン発表

Q4

KUSANAGI 次バージョンリリース
KUSANAGI有償ライセンス販売テストマーケティング



FY2026 AI事業戦略ロードマップ

- ・ GMOインターネットグループとのシナジー協業の推進
- ・ GMOインターネットグループ外のアライアンス強化
- ・ GMO AI RAG発売開始
- ・ GMO AI RAGソリューションの開発、販売開始
- ・ AI自動採点ソリューション拡販開始
- ・ ・ 国内外のテストマーケティングとテストセールスの強化
- ・ OEM技術供与先の開拓（継続）

Q1

MAGATAMA Stackパイロットリリース
AI自動採点ソリューションリリース・受注
MAGATAMAソリューションA開発
MAGATAMAソリューションB開発

Q2

GMO AI RAGリリース
GMO AI RAGメディア向けソリューション販売開始
GMO AI RAGソリューションB開発
GMO AI RAGソリューションB+ 開発

Q3

GMO AI RAGチャット販売開始
GMO AI RAGソリューションB+開発

Q4

GMO AI RAGチャット販売強化
GMO AI RAG販売強化
GMO AI RAGソリューションB+
開発



FY2026 マーケティング戦略ロードマップ

GMO PRIME STRATEGY

- ・ **ライセンス事業**：「高速、セキュアなWeb基盤」訴求による技術的優位性の最大化
- ・ **マネージドサービス事業**：「安心とコストの見える化」で高単価商談の創出
- ・ **AI事業**：「高速Web基盤 x 高機能、低コストなRAG」で新規市場を開拓
- ・ **技術者/ユーザーコミュニティへの訴求を通じた認知度拡大**
- ・ **マスマーケティング（継続）に加え、業種セグメント別の訴求**
- ・ **質の高い案件リード創出と販売パートナーとの協業拡大**

Q1

KUSANAGIサミット2025（12月12日開催済）
FY2026戦略発表（ライセンス、マネージドサービス、AI 3事業別の施策）
GMOインターネットグループ シナジー開始
テストマーケティング・フォームナーチャリング開始
JAWS Days 2026 出展（GOLDサポーター）
GMO大会議 🌸 春サイバーセキュリティ2026出展・登壇

Q2

Web製作者サミット2026春
KUSANAGIサミット2026夏
GMO AI RAGリリース
マネージドサービス事例の訴求
新パートナープログラム開始

Q3

AI Reach Salesの本格テスト運用開始
動画による本格訴求開始
GMO AI RAGチャット本格展開
GMO大会議秋フィジカルAI2026登壇

Q4

Web製作者サミット2026秋
KUSANAGIサミット2026冬

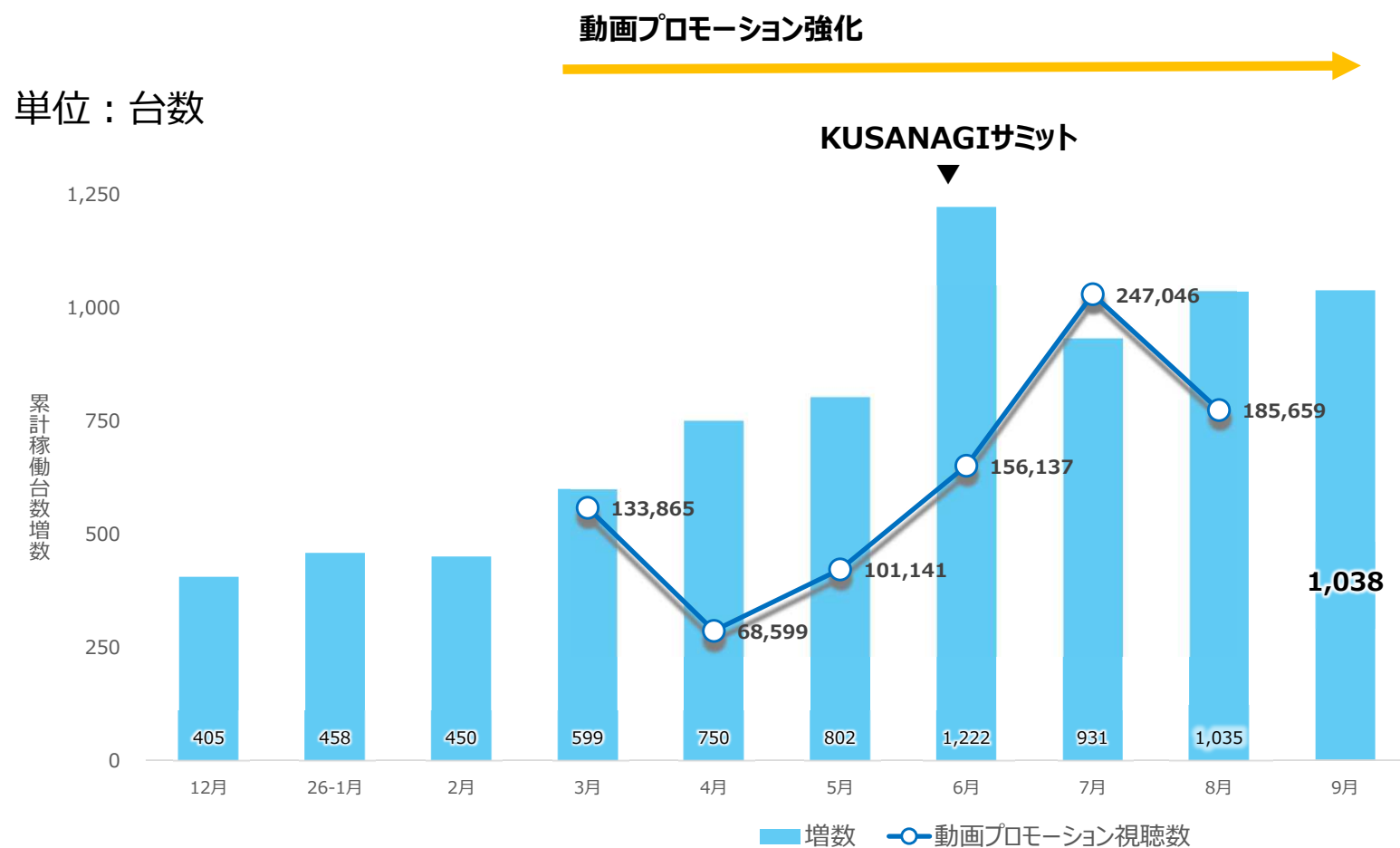


動画訴求

- 高い動画訴求力を実現
- 動画の公開本数と視聴数の増加により累計稼働台数が向上（次ページ）
- 動画1本で1万視聴を超える動画を安定的に公開できる体制に
- 動画視聴ランキング
 - 1位：How to Make WordPress 260x Faster for Free（64万視聴）
 - 2位：Every KUSANAGI Command You Actually Need（11万9千視聴）
 - 3位：How to Make WordPress, Django / PHP / Node.js / Ruby on Rails application 260x Faster（9万8千視聴）
 - 4位：名物！専門用語を使わずに説明する「2026年12月期第1四半期決算説明会ハイライト」（7万3千視聴）
 - 5位：WordPress最強のチャットボット発表）ワンクリック導入、高性能、1/10の価格で提供開始。無料or月額2千円から（6万8千視聴）



今期KUSANAGI稼働台数月次増数の推移



ステークホルダーの皆様へのメッセージ

代表取締役社長 吉政 忠志より

当期第3四半期はKUSANAGIマネージドサービス byGMOの大手企業グループの受注の拡大により売上が拡大傾向になりました。

今期はGMOインターネットグループシナジーを開始するべく、KUSANAGI新Edition、GMO AI RAG、GMO AI RAGチャット、AI Reach Salesの開発を強化するため、開発費が増します。来期以降の受注拡大のための体制を強化します。

今期は来期に向けた準備の期になります。

今後適時開示の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

引き続きどうぞ宜しくお願いします。

Appendix

会社概要

会社概要

社名

GMOプライム・ストラテジー株式会社
英文社名：GMO PRIME STRATEGY CO., LTD.

設立年月日

2002年12月2日

所在地

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町12番10号
住友不動産渋谷インフォスアネックス 3 階

代表取締役

代表取締役社長 吉政忠志

従業員数（連結）

28名（2026年8月末）

資本金

456,141千円（2026年8月末）

事業領域

KUSANAGI Stackの開発と提供

- ・超高速CMS実行環境「KUSANAGI」
- ・高速化エンジン「WEXAL® Page Speed Technology®」
- ・戦略AI「ONIMARU® David」

KUSANAGI Stack事業

- ・マネージドサービス
- ・クラウドインテグレーションサービス
- ・ライセンス

連結子会社

GMO-Z.com PRIME STRATEGY NEW YORK, INC.
（米国ニューヨーク州）

WEXAL®、Page Speed Technology®、ONIMARU®は当社の登録商標です。
登録商標であることの告知記号「®」は以降省略して記載する場合があります。

マネジメントチーム



吉政 忠志 代表取締役社長
マーケティング部, AI事業部管掌

1992年 インテック入社
2010年 吉政創成株式会社 代表取締役就任
2011年 PHP技術者認定機構 理事長就任
2016年 一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会
代表理事就任
2018年 一般社団法人日本ネットワーク技術者協会
代表理事就任
2024年 当社 代表取締役就任

取締役

有澤 克己
栞原 将行
中村 けん牛

社外取締役

小舘 亮之
大崎 理乃
添田 繁永（監査等委員）
鈴木 隆之（監査等委員）
森田 芳玄（監査等委員）



城塚 紘行 取締役
経営管理部管掌

2013年 聖橋監査法人（現アーク有限責任監査法人）入所
2016年 三優監査法人入所
2019年 PwCあらた有限責任監査法人（現 PwC Japan
有限責任監査法人）入所
2020年 当社入社 執行役員経営管理部長
2025年 当社取締役就任



池宮 紀昭 取締役
KUSANAGI事業部、ライセンス事業部管掌

2008年 株式会社コナミデジタルエンタテインメント入社
2016年 AppMedia株式会社入社
2018年 当社入社
2020年 当社クラウドインテグレーション事業部 部長就任
2020年 当社取締役就任

当社のビジネスとは

当社はインターネット上でコンテンツを提供するサーバ（Webサーバ）のOS「KUSANAGI」を開発するメーカーです。

KUSANAGIは超高速の性能を持ち、セキュリティの高さが評価され、世界の主要なクラウドサービス上で利用されており累計稼働台数は10万台（海外3万台含む）に達しています。

KUSANAGIは、全世界のWebサーバの58.7%*で稼働しているCMS（WordPressは全体の40.2%で稼働*）に強いOSです。

当社のビジネスは、KUSANAGIのサブスクリプションサービスとマネージドサービスで主に構成されています。

サブスクリプションサービスが中心なので安定的な売り上げと利益拡大が期待できます



当社のビジネスの特徴

1. 普及に時間がかかる
 - Webサーバーのリプレイスと新規導入のタイミングが主なビジネスチャンスであるため
2. OSビジネスであるため普及が始まると一気に普及する傾向がある
 - 一般的にはシェアが15%を超えたあたりから加速化する
3. KUSANAGI + WEXAL + DAVIDは世界唯一の超高速化とセキュリティを強化するスタックソリューション



コアコンピタンス

「KUSANAGI Stack」

すべての過程で高速化する市場唯一の製品群



超高速CMS実行環境「KUSANAGI」
高速化エンジン「WEXAL® Page Speed Technology®」
戦略AI「ONIMARU® David」

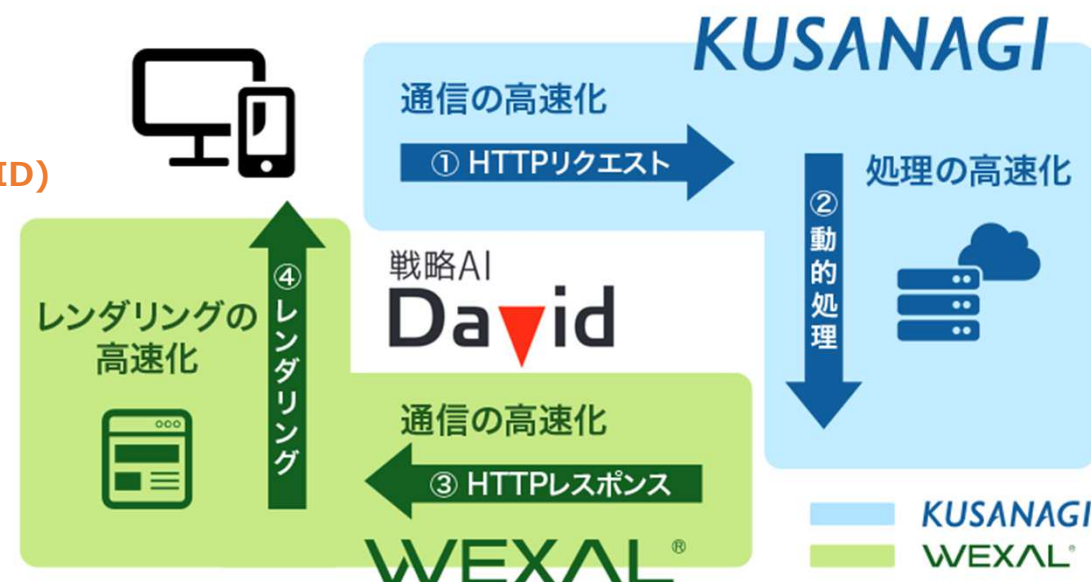


日本国特許第7523733号 (DAVID)
日本国特許第7530383号 (WEXAL)
米国特許 US 12,111,876 B2 (DAVID)

26プラットフォームで展開 ※1
累計稼働台数10万台 ※2

SPEED & SECURITY & COST

画面表示するまでのすべての過程を高速にチューニング



※1：2025年5月現在
※2：2025年6月現在

KUSANAGIのパフォーマンス

WordPress/CMSに特化した
超高速チューニングと
セキュリティ強化のチューニングを
以下の組み合わせで行っているOSが
「KUSANAGI」です。

プラグインで高速化する
製品もあるが限定的

CMS実行環境イメージ

アプリケーション



プログラム



サービス

オペレーティングシステム



実行環境

データベース

超高速CMS実行環境

KUSANAGI

キャッシュ
サーバ



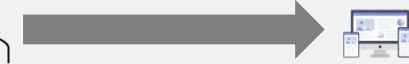
キャッシュサーバ(CDN)の
利用で高速化もできるが
限定的な高速化

KUSANAGI
は、すべての
レイヤーを
高速化する

1秒あたりの処理可能リクエスト数

16,046

一般的な環境



KUSANAGI ECサイトや会員サイト等（キャッシュ非使用）

速い



超高速CMS実行環境
KUSANAGI

KUSANAGIメディアサイトなど一般的なページ（キャッシュ利用）

速い！！



超高速CMS実行環境
KUSANAGI

260倍

105



超高速CMS実行環境
KUSANAGI

61

1.8倍

一般的な環境

KUSANAGI
キャッシュ非使用

KUSANAGI
キャッシュ使用

※環境1

AlmaLinux 8.9

KUSANAGI 9 ※環境2

Microsoft Azure Standard D4s v4 インスタンス (2.60GHz Intel(R) Xeon(R) Platinum 8270CL CPU プロセッサ 4vCPU, 16GB), Premium SSD LRS, 東京リージョン, 高可用性グループ有効, PHP 8.0.30, Nginx 1.22.1, MariaDB 10.5.22, WordPress 6.4.3

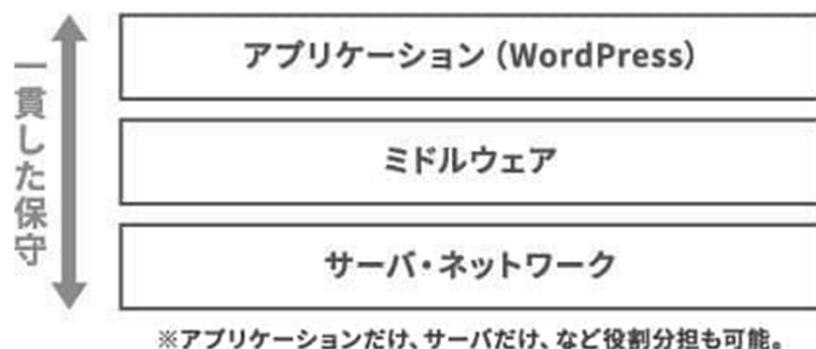
※環境2

Microsoft Azure Standard B2s インスタンス (2.30GHz Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2673 v4 プロセッサ 2vCPU, 4GB), Standard HDD LRS, 東京リージョン, 高可用性グループ有効, PHP 8.0.30, Nginx 1.25.4, MariaDB 10.5.24, WordPress 6.4.3

55

KUSANAGI マネージドサービス by GMO

WordPressなどのCMSからサーバの運用管理までを一貫してサポート



CMSの運用に必要なものがセットになった**フルマネージド**型のサービス

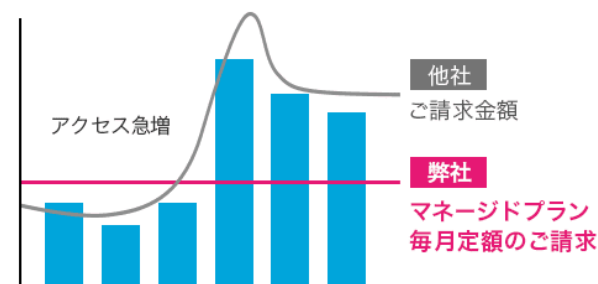
サーバ費用込み

障害対応24時365日

セキュリティ対応

技術サポート

年間予算を立てやすいクラウド料金込みの**月額定額制**。
一時的な**アクセス増加**があっても**料金はそのまま**。



マーケティング・Web担当者様
情報システム部門の担当者様に

**CMSの運用を手離れして
コンテンツ作成など本来の業務に集中できる**

当社が開発したWebシステムでなくとも導入が可能

「WEXAL® Page Speed Technology®」 「David」



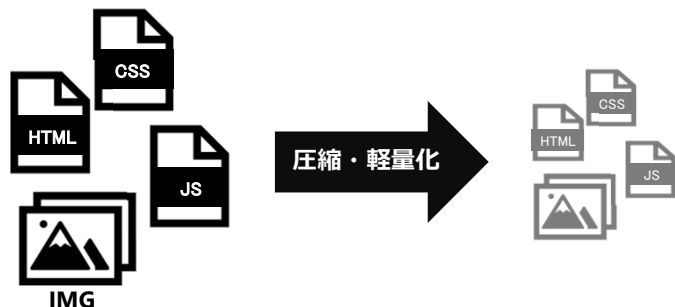
「**WEXAL® Page Speed Technology®**」は、Webシステムのための「高速化エンジン」。
ブラウザ表示の自動チューニングを実施し、UX（ユーザー体験）の向上を実現します。

メリット

2

リソース最適化による高速化と転送量の削減

画像やJS、CSSのリソースを圧縮し、軽量化する。リソースの最適化により、表示の高速化だけではなく転送量を削減します。



メリット

1

戦略AI Davidによる最適化戦略の自動生成

戦略AI Davidがエンジニアに代わってブラウザの環境に合わせてページごとに最適化戦略を自動生成



戦略AI **David**
自動最適化

エンジニアが最適化に
悩む必要はない

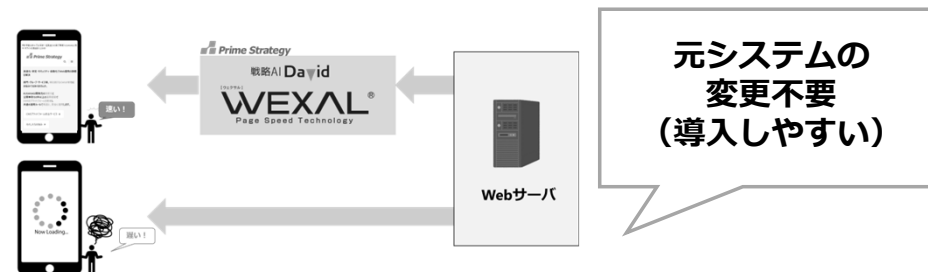


メリット

3

オリジナルデータの改変なし

オリジナルのリソースやプログラム、データベースに保存されているデータなどの改変は行わない。



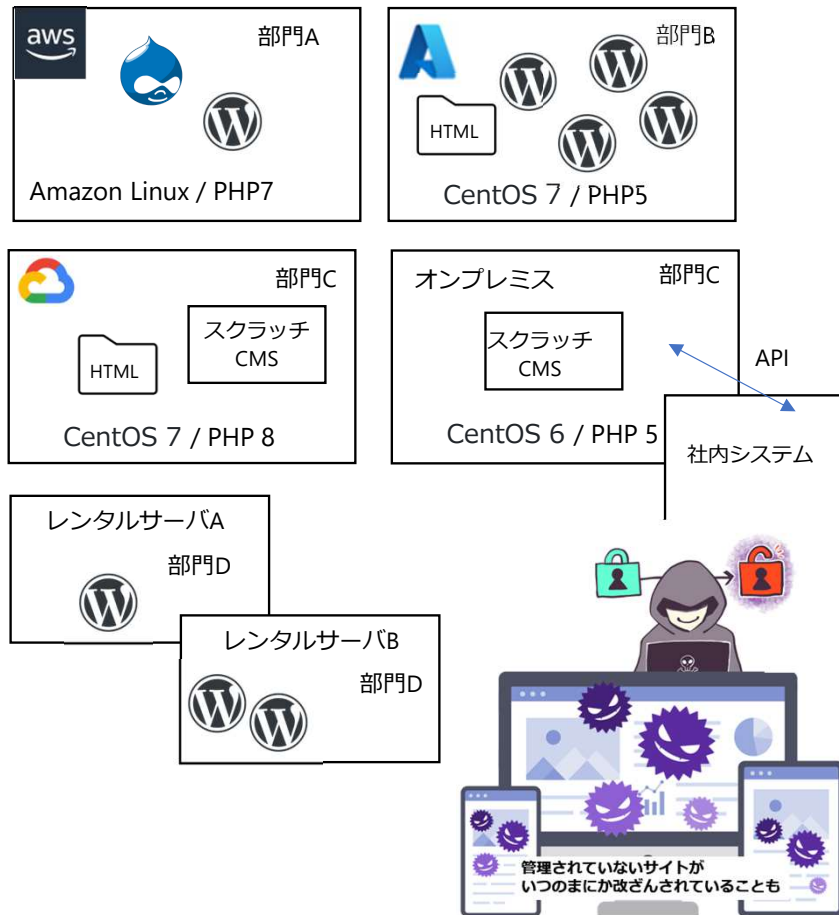
参考情報：競合比較表

		KUSANAGI マネージドサービス byGMO	A社	B社
技術力	他社が構築したWebサイトの引継ぎ保守	◎ 事例多数	— 未対応	— 未対応
	WordPressの技術力・保守力	◎ 事例多数	△	△
パフォーマンス	突発的なアクセス増への対応	◎ KUSANAGI (標準)	△	—
	パフォーマンスの向上	◎ KUSANAGI (標準) 追加チューニングも可	△ 有償チューニング	—
	AIによる自動チューニング	○ WEXAL (有償)	—	—
	クラウド利用料金の軽減	◎ 月次料金に含む (定額)	—	—
サポート力	サーバ・ネットワーク・ミドルウェア・ アプリケーションまでのフルマネージド	◎ 標準料金に含まれる	△ 一部に限定	— WordPress のみ
	技術者による技術サポート	◎ 電話・オンライン	○ オンラインのみ	△ 有償
	24時間365日対応	○ オプション	○ オプション	— 未対応
	レポートニング	○ 運用レポートと定例 (オプション)	○ オプション	— 未対応

解説は https://www.prime-strategy.co.jp/wordpress_managed/

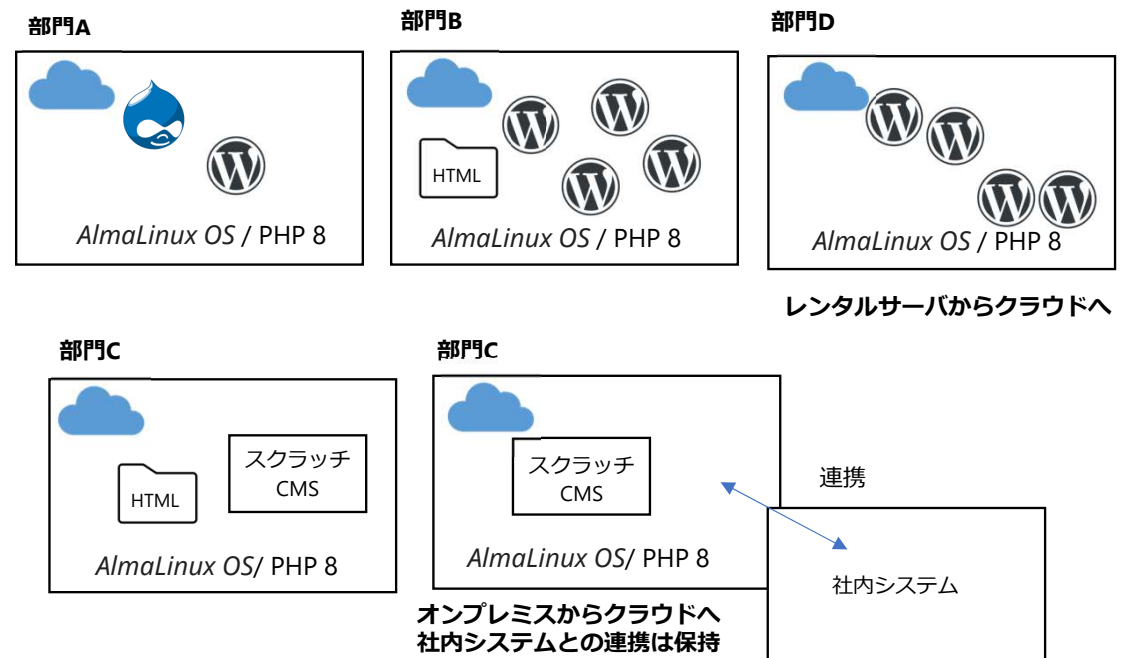
CMS/Webプラットフォーム統合サービス

乱立するWebサイトが抱えるセキュリティとガバナンスの課題



クラウドプラットフォームを統一
OSやミドルウェアを最新化し、統一されたルールで運用

統一したセキュリティ環境での運用



統一したセキュリティ環境での運用サービスに定評

CMS/Webプラットフォーム統合サービス

プランニング

- ・環境調査
- ・サイトリスト作成
- ・課題点の洗い出し
- ・制作ベンダーとのやりとり
- ・運用ルールの方策

移行

- ・サーバ構築
- ・サイト移設
- ・セキュリティサービスの導入
- ・CMSのアップデート

運用

- ・障害対応
- ・メンテナンス
- ・セキュリティアップデート
- ・レポーティング
- ・ドメイン・SSLなどのアカウント管理
- ・制作ベンダーとの連携
- ・各種ご相談



サーバ費用
込みの定額料金



技術サポート



24時間365日
障害対応



セキュリティ
対応



メンテナンス



バックアップと
復旧

計画段階からご支援して、プラットフォームの統一を実現します

当社の差別化・競争力 まとめ

製品 競争力 ・ 差別化

ターゲットは全世界の
Webサーバの
58.7%のCMS
(WordPressは全体の
40.2%で稼働) *

CMSに特化した
高いセキュリティ

超高速性能
通常環境の
260倍

主要クラウドとの
パートナーシップ
AWS、Microsoft、
Google等11社

*引用元 https://w3techs.com/technologies/overview/content_management (2026/10現在)

KUSANAGI
無償版による
参入障壁

KUSANAGI
無償版による
普及力・
認知度向上

大手
プロバイダー
への技術提供
実績

特許に
裏付けられた
高い技術力

サービス 競争力 ・ 差別化

安定した事業拡大を
実現する
サブスクリプション型
サービス

他社が構築した
Webサイトを
保守できる
技術力の高さ

国内屈指の
豊富な実績
(公開事例200サイト)

WordPressの
リーディング
カンパニー

WebサーバOSや保守サービスプロバイダーとしては
国内屈指の技術力と実績を持っています。

GMO PRIME STRATEGY

本資料の取り扱いについて

- ・ 本資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- ・ 本資料には、将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます。）が含まれる場合があります。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。本資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。
- ・ 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。
- ・ 本資料は、本資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社又は当社の代表者のいずれも、本資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社又は当社の代表者のいずれも、本資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。
- ・ また、当社以外の事項・組織に関する情報が含まれる場合があります。当該情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性及び適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- ・ 本資料に記載しておりますKUSANAGIや他のOSの性能評価で利用した具体的環境は以下のとおりです。

（環境1） AlmaLinux 8.9
Microsoft Azure Standard D4s v4 インスタンス (2.60GHz Intel(R) Xeon(R) Platinum 8272CL CPU プロセッサ 4vCPU, 16GiB), Premium SSD LRS, 東日本リージョン, 高速ネットワーク有効, PHP 8.0.30, Nginx 1.22.1, MariaDB 10.5.22, WordPress 6.4.3
（環境2） KUSANAGI 9.4.12-1.el8 (AlmaLinux 8.9)
Microsoft Azure Standard B2s インスタンス (2.30GHz Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2673 v4 プロセッサ 2vCPU, 4GiB), Standard HDD LRS, 東日本リージョン, 高速ネットワーク無効, PHP 8.0.30, Nginx 1.25.4, MariaDB 10.5.24, WordPress 6.4.3